資料 8-1

令和２年度　指定管理者年度評価シート

１　公の施設の基本情報

施設名称	千葉ポートアリーナ
条例上の設置目的	スポーツの振興及び文化の向上を図るため。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	トップスポーツのホームゲーム開催や競技スポーツの国際大会・全国大会の開催や、市民総体等の市民レベルの大会の開催の他、障がい者スポーツ施策の展開における拠点等、市スポーツ施策の中心的役割を果たす。
ミッション （施設の社会的使命や役割）	市スポーツ施策と一体となり、東京オリンピック・パラリンピックに向けた事前キャンプ受入れや障がい者スポーツ大会の受入れ、更には市内他施設において需要の吸収が困難な市民レベルの大会等の受入れを中心に行う。
制度導入により見込まれる効果	本施設は、国際的・全国的なトップスポーツのイベントや各種文化イベントの開催が可能な高水準の設備を備えた集客施設であるが、今後、東京オリンピック・パラリンピックに向けた日本代表チームの事前練習会場及び強化拠点施設として想定されていることや、障がい者スポーツ施策の更なる推進や他施設では吸収が困難な市民総体等の市民レベルの大会の優先的な受入れといった、市スポーツ施策の展開により、施設の効用を発揮することが大幅に制限されることで、収益性が低下することが予想される。 そのような状況下で、本施設の提供する市民サービスを低下させることなく、安定的、継続的な運営を行うとともに、市スポーツ施策と一体となった柔軟かつ弾力的な管理運営を期待する。
成果指標※	①　施設利用者数 ②　スポーツ教室開催数
数値目標※	①　250,000人／年　以上 ②　20教室／年　以上
所管課	市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課

※　成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

２　指定管理者の基本情報

指定管理者名	公益財団法人　千葉市スポーツ振興財団 ※H31.4.1から千葉市体育協会との事業統合に伴い、 「公益財団法人　千葉市スポーツ協会」に名称変更
構成団体 （共同事業体の場合）	
主たる事業所の所在地 （代表団体）	千葉市中央区問屋町１番２０号
指定期間	平成２８年４月１日～令和３年３月３１日（５年）
選定方法	非公募
非公募理由	千葉ポートアリーナについては、東京オリンピック・パラリンピックに向けた日本代表チームの事前練習会場及び強化拠点施設として想定されていることや、障がい者スポーツ施策の更なる展開により施設利用が大幅に制限され、民間事業者の創意工夫による効用の発揮、収益拡大は見込めない。 現在の指定管理者である千葉市スポーツ振興財団は、収益を目的としない公益財団法人であり、市の施策実現のために設立された外郭団体であることから、市と一体となった効果的・効率的な施策の実施や、柔軟かつ弾力的な対応が可能となるため、非公募で選定する。
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

３　管理運営の成果・実績

（１）成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	令和2年度実績	達成率※
施設利用者数	260,000人(250,000人)	51,756人	19.9 %(20.7%)
スポーツ教室開催数	25教室(20教室)	11教室	44.0%(55.0%)

※　数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

（２）その他利用状況を示す指標

指　標	令和2年度実績

４　収支状況

（１）必須業務収支状況

ア　収入

（単位：千円）

費　目		令和２年度	【参考】令和元年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
指定管理料	実績	188,279	177,949	実績－計画	4,948	新型コロナウィルス感染拡大防止に伴う休館に対する営業支援金(16,390千円)による増額
	計画	183,331	173,323	計画－提案	△ 9,776	
	提案	193,107	194,932			
利用料金収入	実績	30,712	107,712	実績－計画	△ 54,994	新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館等による利用料金収入の減
	計画	85,706	85,084	計画－提案	1,425	
	提案	84,281	84,281			
その他収入	実績			実績－計画	0	
	計画			計画－提案	0	
	提案					
合計	実績	218,991	285,661	実績－計画	△ 50,046	
	計画	269,037	258,407	計画－提案	△ 8,351	
	提案	277,388	279,213			

イ　支出

（単位：千円）

費　目		令和２年度	【参考】令和元年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
人件費	実績	63,047	66,800	実績－計画	△ 8,319	新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館等による人件費の減
	計画	71,366	67,068	計画－提案	2,938	
	提案	68,428	67,682			
事務費	実績	57,929	81,857	実績－計画	△ 22,071	新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館等に伴う光熱水費の
	計画	80,000	72,100	計画－提案	△ 11,289	
	提案	91,289	91,289			
管理費	実績	112,952	135,241	実績－計画	△ 4,719	イベントの中止等による映像装置の立ち合い業務委託等の減
	計画	117,671	119,239	計画－提案	0	
	提案	117,671	120,242			
委託費	実績		0	実績－計画	0	
	計画		0	計画－提案	0	
	提案		0			
その他事業費	実績		0	実績－計画	0	
	計画		0	計画－提案	0	
	提案		0			
間接費	実績		0	実績－計画	0	
	計画		0	計画－提案	0	
	提案		0			
合計	実績	233,928	283,898	実績－計画	△ 35,109	
	計画	269,037	258,407	計画－提案	△ 8,351	
	提案	277,388	279,213			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。
「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

間接費の配賦基準・算定根拠

（２）自主事業収支状況

ア　収入

（単位：千円）

費　目		令和２年度	【参考】令和元年度
自主事業収入	実績	1,469	4,426
その他収入	実績		0
合計	実績	1,469	4,426

イ　支出

（単位：千円）

費　目		令和２年度	【参考】令和元年度
人件費	実績	399	400
事務費	実績	84	324
管理費	実績		
委託費	実績	62	51
使用料	実績		
事業費	実績	1,087	2,644
利用料金	実績	564	1,308
その他事業費	実績		
間接費	実績		
合計	実績	2,196	4,727

間接費の配賦基準・算定根拠

（３）収支状況

（単位：千円）

		令和２年度	【参考】令和元年度
必須業務	収入合計	218,991	285,661
	支出合計	233,928	283,898
	収　支	△ 14,937	10,482
自主事業	収入合計	1,469	4,426
	支出合計	2,196	4,727
	収　支	△ 727	△ 61
総収入		220,460	290,954
総支出		236,124	263,229
収　支		△ 15,664	27,725
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

５　管理運営状況の評価

（１）管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数	E	市設定目標の20.7%　※4,5月の緊急事態宣言による休館及び12月～3月にかけての利用制限の実施が影響。
スポーツ教室開催数	E	市設定目標の 55.0%　※35事業のうち実施は11事業。

※コロナによる影響については、「７総括（2）市による評価」で考慮して評価する。

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
Ａ：成果指標が市設定の数値目標の１２０％以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はＢとする。）
Ｂ：成果指標が市設定の数値目標の１０５％以上１２０％未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はＣとする。）
Ｃ：成果指標が市設定の数値目標の８５％以上１０５％未満
Ｄ：成果指標が市設定の数値目標の６０％以８５％未満
Ｅ：成果指標が市設定の数値目標の６０％未満

※コロナによる影響については、「７総括（2）市による評価」で考慮して評価する。

（２）市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	A	営業支援金を除く指定管理料額は光熱水費の余剰分(11,442千円)を返還分を除くと171,889千円となり、提案額の89%であり、10%以上削減されている。

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
Ａ：選定時の提案額から１０％以上の削減
Ｂ：選定時の提案額から５％以上１０％未満の削減
Ｃ：選定時の提案額と同額又は５％未満の削減
（Ｄ・Ｅ：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし）
－：対象外（市の指定管理料支出がない。）

（３）管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1　市民の平等利用の確保・施設の適正管理	B	C	
市民の平等利用の確保			
関係法令等の遵守			
リスク管理・緊急時対応			
2　施設管理能力			
（１）人的組織体制の充実	B	C	
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置			
従業員の能力向上			
（２）施設の維持管理業務	B	B	新型コロナウイルス感染対策として清掃の強化及びトレーニング機器の消毒などを感染対策を強化しているほか、老朽化による施設の不具合箇所の応急処置や修繕を適切に実施している。
施設の保守管理			
設備・備品の管理・清掃・警備等			
3　施設の効用の発揮			
（１）幅広い施設利用の確保	B	C	
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免			
利用促進の方策			
（２）利用者サービスの充実	C	B	回数券や定期券の有効期間を延長するなど利用者への休館の影響を低減するよう対応しているほか、アンケートや利用者の意見を踏まえた対応を行っている。
利用者への支援			
利用者意見聴取・自己モニタリング			
（３）施設における事業の実施	B	C	
施設の事業の効果的な実施			
自主事業の効果的な実施			
4　その他			
市内業者の育成	C	C	
市内雇用への配慮			
障害者雇用の確保			
施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】
Ａ：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
Ｂ：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
Ｃ：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
Ｄ：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
Ｅ：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

（４）市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
アンケート結果等を踏まえ、引き続き利用者の要望に応える管理運営に努められたい。	R元年度	利用者ニーズに即時対応可能な修繕等について対応し、管理運営に努めた。また、利用者ニーズに即した自主事業を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響による施設の閉鎖等に伴い、計画した事業が一部実施出来なかった。 引き続き利用者ニーズに即した管理運営・事業実施に努めたい。
施設の清潔の保持に努められたい。		平常時の施設維持管理清掃業務に加え、新型コロナウイルス感染症対策としてパーテーション等の設置、各入口等にアルコール薬剤の設置、換気空調の実施、薬剤を使った施設・機器等の清掃を実施した。

６　利用者ニーズ・満足度等の把握

（１）指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	施設利用者に対し、アンケート用紙を配布
	回答者数	1回目：150件、2回目：142件
	質問項目	下記のとおり
結果	1回目（令和2年9月11日（金）～令和2年10月15日（木）） ○回答者の属性 【性別】男性：67%、女性33% 【年齢】10代 31%、20代 22%、30代 12%、40代 18%、50代 10%、60代以上　7% 【居住地】千葉市内 62%　千葉市外 38% 【交通手段】徒歩 16%、自転車 18%、オートバイ 5%、自動車 43%、バス1%、電車17% 【利用頻度】はじめて16%、月に1回22%、月に1～2回19%、週に1～2回23%、週に2回以上3%、 年に数回12%、年に1回5% 【利用目的】健康維持のため 20%、ダイエット 4%、体育授業・学校行事　5%、競技力・体力向上69% その他　2% ○施設の満足度 【スタッフの対応】非常に良い50%、まあまあ良い28%、普通21%、やや悪い1%、非常に悪い0% 【施設の清潔感】非常にきれ42%、まあまあきれい35%、普通22%、やや汚い1%　大変汚い0% 【施設の満足度(メインアリーナ)】非常に良い51%、まあまあ良い34%、普通14%、やや悪い0%、非常に悪い0% 【施設の満足度(サブアリーナ)】とても良い62%、まあ良い38%、普通0%、やや悪い0、非常に悪い0% 【施設の満足度(トレーニング室)】とても良い46%、まあ良い18%、普通18%、やや悪い18%、非常に悪い0% 【感染予防対策】十分対策が取られている58%、まあまあ対策が取られている42%、不十分だと思う0% 2回目（令和3年3月1日（月）～令和3年3月31日（水）） ○回答者の属性 【年齢】10代 37%、20代 20%、30代 12%、40代 19%、50代 8%、60代以上 4% 【居住地】千葉市内 57%　千葉市外 43% 【利用頻度】はじめて21%、月に1回15%、月に1～2回39%、毎週18%、 年に数回10%、年に1回9%、その他3% 【利用目的】健康維持のため 16%、ダイエット4%、競技力・体力向上 71%、体育授業・学校行事への参加　4%、その他　5% ○施設の満足度 【スタッフの対応】非常に良い58%、まあまあ良い27%、普通15%、やや悪い0%、非常に悪い0% 【施設の清潔感】非常にきれい51%、まあまあきれい31%、普通17%、やや汚い1%　大変汚い0% 【館内の明るさについて　メインアリーナ】非常に良い　46%、まあまあ良い　23%、普通　20、やや暗い11%、暗い　0% 【館内の明るさについて　サブアリーナ】非常に良い　57%、まあまあ良い　21%、普通　7%、やや暗い14%、暗い　0% 【館内の明るさについて　トレーニング室①】非常に良い　33%、まあまあ良い　36%、普通31%、やや暗い0%、暗い　0% 【館内の明るさについて　トレーニング室②】非常に良い　50%、まあまあ良い　20%、普通30%、やや暗い0%、暗い　0% 【施設の満足度(メインアリーナ)】とても良い59%、まあ良い30%、普通10%、やや悪い0%、非常に悪い0% 【施設の満足度(サブアリーナ)】とても良い64%、まあ良い14%、普通21%、やや悪い0%、非常に悪い0% 【施設の満足度(トレーニング室)】とても良い70%、まあ良い10%、普通0%、やや悪い20%、非常に悪い0% 【感染予防対策】十分対策が取られている72%、まあまあ対策が取られている27%、不十分だと思う1%	

（２）市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
トレーニング室の6か月パスポートを所持しているが、感染防止を目的とした休館の期間中に期限がきれてしまう。	パスポートの期限を延長し、対応した。
トレーニング室を利用したが感染対策がしっかりされており、安心した。検温器があるとさらに安心だが、設置してはどうか。	納品が遅れていたため、問い合わせ時点では設置されていなかったが、検温器を設置した。

7　総括

（1）指定管理者による自己評価

総括評価	B	所見	令和２年度も引き続きナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設（車いすバスケットボール）の指定を受け、NTC日本代表車いすバスケットボール合宿や、ジャパンパラゴールボール競技大会、ジャパンパラ車いすラグビー大会等の大会運営に協力し、パラスポーツ施設としての効用を発揮した施設運営に努めた。 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴う対策を適切に実施し、安心・安全な施設運営に努めた。

（2）市による評価

総括評価	C	所見	施設の特性上、国際大会や全国大会が多く予定されていたが、新型コロナウイルス感染対策のため、複数のイベントが中止となった。 また、緊急事態宣言発令やまん延防止措置の適用により、施設の休館、一部閉鎖等の影響があったため、利用者数、教室等の実施数については目標を下回る結果となった。 施設の維持管理においては、感染症対策を適切に実施したほか、施設料の回数券や定期券の有効期限の延長など、休館による利用者への影響を低減させるよう対応している。また、施設修繕等も適宜実施している。 利用者数では目標の20.7%、教室開催数では目標の55.0%と、ともにE評価であったが、これらは新型コロナウイルス感染対策に起因するものであり、その他の管理は概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていたことから、総括評価をCとした。

【評価の内容】
Ａ：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
Ｂ：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
Ｃ：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
Ｄ：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
Ｅ：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

（3）市民局指定管理者選定評価委員会の意見

ア　市の作成した年度評価案の妥当性について
　市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。
イ　指定管理者制度の導入効果や課題等を踏まえた制度継続の検討、その他改善点について
(ア)年間利用者数に比して、アンケートの回答者数が十分と言えないことから、様々な競技種別や利用形態の利用者から、より多くの回答が得られるよう、アンケートの実施方法を検討されたい。
(イ)当施設がパラスポーツの会場として利用されていることを周知するため、メディア露出等の機会を捉え、より効果的な広報に努められたい。